

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成30年度事業 点検・評価調書

4-IV-4

4-IV-4

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	民泊や遊休施設活用の推進
	節	IV.ホスピタリティの醸成	
事業(施策)名	4 農家民泊の推進 ※修学旅行対応	事業主体	佐渡市観光振興課
		関連団体	佐渡地域振興局(企画振興部、農林水産振興部)、新潟市観光政策課、長岡市観光企画課、上越市観光交流推進課
事業実施期間	H28～R4		
事業概要	【事業目的】	○ピーク時の宿泊施設不足への対応として、主に修学旅行向けの農家民泊の推進を図る。	
	【事業内容】	○本土側の関係機関と連携を図りながら、小中学校や旅行代理店等にピーク時における島内の受入可能な農家民泊に関する情報提供を行う。	
30 事業計画と実績	【30年度計画】	●佐渡観光交流機構が組織されたことから連携したホームページ等を活用した農家民宿誘致を行う。	
	【30年度実績】	●佐渡観光交流機構と連携し、13校307人の農家民泊受入を行った。	
課題・今後の取組	【課題】	■受入先ホストが少ないため、受入先農家の拡充が必要である。	
	【今後の取組】	■受入先農家の拡大に取組む。引き続き情報提供と受入れを行う。	
事業評価	【事業の達成度】	当初計画に基づき事業実施できたことからBとする。 [a ・ b ・ c]	
	【事業実施の効果】	[a ・ b ・ c]	
	【総合評価】	[A ・ B ・ C]	

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。